

東海ブロッククラブネットワークアクション 2017 開催報告

日 時： [1日目] 平成 29 年 11 月 18 日（土） 13：00 ～ 17：00

[2日目] 平成 29 年 11 月 19 日（日） 9：00 ～ 12：00

会 場：プラトンホテル四日市

内 容：テーマ:東海地区のクラブ仲間 ～知り合おう、考え合おう、語り合おう！～

[1日目]

1. 共通プログラム『地域スポーツクラブと障がい者スポーツ団体の連携』
2. グループワーク『参加した仲間たちの「人」や「クラブ」について知り合おう』

[2日目]

1. 事例発表『いま・これからのクラブが知っておくべき課題』

【概要】

1日目は、日本体育協会共通プログラムとして『地域スポーツクラブと障がい者スポーツ団体の連携』をテーマに、三重県障がい者スポーツ協会から基礎的な情報提供と、クラブが障がい者の受入に向けた連携を促進するためのワークを行いました。

その後グループワークとして、自己紹介及び参加クラブの失敗談・楽しかった点等についての各自発表を行い、各クラブの状況の理解を深めました。

2日目は、『いま・これからのクラブが知っておくべき課題』をテーマに事例発表を行い、各県及び各クラブが置かれている課題について、共通理解しました。

最後に築瀬実行委員長より全体総括を行い、2日間の幕を閉じました。



【内容】

[1日目]

◆共通プログラム 『地域スポーツクラブと障がい者スポーツ団体の連携』

三重県障がい者スポーツ協会の伊藤事務局長より、三重県障がい者スポーツ協会についての情報提供後、築瀬実行委員長の進行により、知的に障がいのある方が、クラブが開催するプログラムに参加したい旨の問い合わせがあった場合、どのように対応するかについてのワークを行いました。

また、三重県立稲葉特別支援学校の田中教諭に助言者として入っていただき、具体的な解説などを行いながら、ワークを進めていきました。

日頃のクラブ活動において、障がい者が参加しているクラブは少なく、障がい者との接し方や具体的な対応などについてアドバイスをいただくことができ、障がい者のことについて知る、良いきっかけとなるプログラムとなりました。



(左より 伊藤氏、田中氏)

◆グループワーク 『参加した仲間たちの「人」や「クラブ」について知り合おう』

まず、最初に長机を取り払い、椅子を円形に設置し、岸田実行副委員長より「一人ずつ順番に数字を読み上げ、7の倍数時は拍手を打つ」等のアイスブレイクを行い、参加者がコミュニケーションをとりやすい雰囲気作りを行いました。

その後、4グループに分かれて、所属クラブにおける失敗談について自己紹介を兼ねて発言後、会費の設定・後継者・イベント企画・スケジュール作成等のクラブの困り事について各自発表を行いました。休憩を挟み、再びグループ分けを行い、今度はこの一年でクラブで楽しかったことについて各自発表を行いました。

グループワークを経て、それぞれのクラブ運営が垣間見えたことで、この後のプログラムを通じて、より情報交換を深め、各自のクラブ運営に活かされることを期待したいと、築瀬実行委員長がまとめを行い、グループワークは終了しました。



(中央 築瀬氏)

[2日目]

◆事例発表 『いま・これからのクラブが知っておくべき課題』

- ・超高齢化社会におけるクラブ事業 ～中高年をターゲットとした事業の工夫～
- ・クラブ運営形態の変化から学ぶ ～協同・合併や解散・休止の事例～

5クラブ及び岸田実行副委員長から、事例発表を行いました。

プログラムとしては事例発表でしたが、テーマを絞った事により、各々で展開している事業や行政・クラブ間におけるコラボレーション等、他のクラブにとっても新しい発見や色々な情報を知ることが出来た良い機会となったと思います。

また、持ち時間を超えての発表となったため、質問の時間を取ることは叶いませんでしたが、直接に個々での情報交換をすることにより、さらに県を越えたつながりが強固なものになることが期待できる内容でした。

第1日目のプログラムやこの事例発表を聴講することによって、クラブが抱える課題等を共通認識することができ、「東海地区のクラブ仲間 ～知り合おう、考え合おう、語り合おう!～」というテーマに沿った今回のプログラムの全日程が終了しました。



(元氣777 こもの球-クラブ 横井氏)

【まとめ】

今回は『東海地区のクラブ仲間 ～知り合おう、考え合おう、語り合おう!～』をテーマとして、グループワークと事例発表を行いました。

新しいアイデアを事業化して成功に導くためには、クラブ関係者が「物事を関連付ける能力」を身に付ける必要があると思います。

グループワークや事例発表で、初めて聞いたことでも、なんらかの形で自身のクラブに関連付けることにより、クラブが良くなっていけば、企画者としては嬉しい限りです。

今後も、より多くの方々に参加いただけるようなプログラムを考えていきたいと思っています。

スポーツくらぶ

